

ディプロマ・ポリシー①とカリキュラム・ポリシー②および関連科目の体系

ディプロマ・ポリシー①

多様なスポーツニーズに応え、スポーツや体育を推進するための研究をすることができる

スポーツにおける組織のガバナンスやコンプライアンスの遵守に関する知見を身につけている

カリキュラム・ポリシー②

スポーツ科学分野の研究方法を学び、スポーツ科学領域に携わる高度専門職業人として持つべき確かな倫理観や多様なスポーツニーズに関わる知見を修得するため、基礎科目は「スポーツふくし・文化科目群」によって編成する。また基礎科目で得た知見をより実践的な能力として身につけるために、関連する科目を専門科目と展開科目に配置する。

スポーツふくし・文化科目群

基礎科目

スポーツ共生社会特論 (2)

国内外のスポーツ界に見られる格差、差別、不平等の実態について学び、それを乗り越えていくための方向性と手段について学修する。

スポーツふくし・文化科目群

基礎科目

スポーツインテグリティ特論 (2)

スポーツ界における倫理的諸問題について応用的に考え、議論できるとともに、スポーツのインテグリティを守るためのシステムについて理解し、説明することができるようにする。

身体運動・コーチ科学科目群

専門科目

スポーツ心理学特論 (2)

スポーツにおけるこころと身体のつながり、障害のある競技者の心理的変容プロセスに関する理論の理解と事例の検討を行う。

スポーツ人文・社会科学科目群

スポーツ社会学特論 (2)

スポーツ界に生じている様々な事象を各種理論を用いて理解し、その要因や課題解決に向けての手がかりを得られるようにする。

身体運動・コーチ科学科目群

専門科目

スポーツコーチング特論 (2)

年齢、体力、技術、環境に応じて、快適にスポーツを享受できるように、競技者が人間力向上の上に競技力が向上することの重要性を理解することができるようにする。

スポーツ人文・社会科学科目群

スポーツ哲学特論 (2)

スポーツの目的と価値について理解し、説明することができるようにする。

スポーツマネジメント特論 (2)

現代のスポーツ組織が抱える課題を、市場環境と組織のマネジメントの観点から説明できるようにする。

スポーツ人文・社会科学科目群

展開科目

スポーツフィールドスタディ演習A (2)

学校のスポーツ活動のもつ課題に対してその対応策や解決策を提案することができるようにする。

スポーツフィールドスタディ演習B (2)

スポーツ関連組織のもつ課題に対してその対応策や解決策を提案することができるようにする。

身体運動・コーチ科学科目群

展開科目

スポーツコーチング演習A (2)

コーチ科学におけるスポーツ心理学の立場と活用の可能性についての理解を深めるとともに、SMT(スポーツメンタルトレーニング)に必要な技法を修得し、指導現場で活かすことができるようにする。

研究指導科目

スポーツ科学研究Ⅰ (2) スポーツ科学研究Ⅱ (2) スポーツ科学研究Ⅲ (2) スポーツ科学研究Ⅳ (2)

自由科目

研究方法概論Ⅰ (1) 研究方法概論Ⅱ (1) 研究方法概論Ⅲ (1) 研究方法概論Ⅳ (1)

先端老年社会科学講座 (1) 統計解析講座 (1)

() : 単位数 下線 : 必修科目

主な関連科目